

Schaeffler AG、取締役会の再編を発表

- Andreas Schick が 2026 年 3 月 31 日付でシェフラーを退社
- 後任には Jochen Schröder が 2026 年 4 月 1 日付で就任
- Rémy Triouleyre が Schröder の後任として、欧州地域 CEO に就任
- Xiangbin Chen が Yilin Zhang の後任として、2027 年 1 月 1 日付でグレートチャイナ CEO に就任

2026 年 2 月 27 日 | Herzogenaurach / Yokohama

本日開催された Schaeffler AG 監査役会は、**Jochen Schröder (54)** を 2026 年 4 月 1 日付で最高執行責任者 (COO) および Schaeffler AG 取締役会メンバーに任命することを決議しました。**Schröder は Andreas Schick (55)** の後任となります。2025 年 9 月 28 日付の発表のとおり、Andreas Schick は本人の意向により、2026 年 3 月 31 日付でシェフラーを退社いたします。監査役会はまた、取締役会の規模縮小と効率化を図るため、最高技術責任者 (CTO) と最高執行責任者 (COO) の機能統合を検討する方針を決定しました。

Jochen Schröder は 2018 年にシェフラーに入社し、新設された E モビリティ事業部の責任者に就任しました。2024 年からは欧州地域最高経営責任者 (CEO) を務めるとともに、Schaeffler AG の取締役会メンバーとして経営に参画しています。シェフラー入社以前は、2016 年より Valeo-Siemens eAutomotive の CTO を務めていました。キャリアのスタートは BMW AG で、同社ではトランスミッション開発に携わり、その後 2016 年に退社するまでパワートレイン電動化関連部門で複数の管理職を歴任しています。Schröder はドイツのハンブルク工科大学で電気工学を専攻し、2001 年に制御工学の博士号を取得しています。

Schaeffler AG の同族株主兼監査役会代表を務める Georg F. W. Schaeffler は、次のように述べています。「Schick の後任として、社内人材であり、有能かつ豊富な経験を持つ Jochen Schröder を迎えることができ、大変嬉しく思います。Schröder は、ヴァイテスコ買収前の E モビリティ事業部の発展に重要な役割を果たし、また欧州地域 CEO としての実績から、シェフラーグループの事業および 4 つの事業部を熟知しています。監査役会を代表して、Andreas Schick のこれまでの貢献に深く感謝申し上げます。30 年以上にわたり、多様な役割を担い、今日の

シェフラーの成功に大きく寄与していただきました。公私ともに一層のご活躍を心よりお祈りいたします。」

Jochen Schröder の後任として欧州地域 CEO に就任するのは、現在サブリージョン・フランスを統括し、シェフラーフランス CEO 兼ステランティスグループ担当グローバル・キーアカウントマネージャーを務める Rémy Triouleyre (48) です。

Rémy Triouleyre は 2004 年にシェフラーグループに入社し、フランスをはじめとする複数の自動車メーカーおよび自動車部品サプライヤーを担当するグローバル・キーアカウントマネジメントの要職を歴任し、日本での駐在経験もあります。キャリアのスタートは 2001 年、ドイツ・ビュールの Bosch で、その後同社を退社し、フランスの Atamec に入社しました。フランスの大学で機械工学を専攻し、さらに国際貿易金融の修士号も取得しています。

以上の人事に加え、Schaeffler AG の取締役会は、2027 年 1 月 1 日付で **Xiangbin Chen** (44) をグレーターチャイナ CEO に任命することを決議しました。Chen は、2026 年末に退任を予定している Yilin Zhang の後任となります。

Xiangbin Chen は、2024 年 11 月 1 日よりグレーターチャイナ E モビリティ事業部の責任者を務め、同地域のグローバル・キーアカウントマネジメントの責任者も兼任しています。これに先立ち、2022 年 1 月 1 日からはグレーターチャイナオートモーティブ・テクノロジーズ事業部の責任者を務めています。Chen は 2006 年にシェフラーに入社し、ドイツ・ビュールのクラッチ部門でテストエンジニアとしてキャリアをスタートしました。その後、グレーターチャイナトランスミッションシステムズ事業部をはじめ、複数の技術部門および管理職を歴任し、エンジンシステムズ部門の責任者も務めています。Chen は上海の同済大学で機械工学を専攻し、2006 年に修士号を取得、その後博士号を取得しています。

Schaeffler AG の CEO、Klaus Rosenfeld は次のように述べています。「現在進めているシェフラーグループ取締役会の再編を通じ、同取締役会をさらに効率化してまいります。それと並行して、本日発表した地域 CEO の交代を進めることで、必要な世代交代に着手し、将来の課題に対応できるシェフラーグループの体制づくりを積極的に推進していきます。」



Dr. Jochen Schröder



Rémy Triouleyre



Xiangbin Chen

写真:シェフラー

注)本プレスリリースは現地時間 2026 年 2 月 27 日付でドイツ・ヘルツォーゲンアウラッハにおいて英語で発行されたものの日本語訳です。原文の英文と日本語訳の間で解釈に相違が生じた場合には英文が優先します。

将来の見通しに関する記述および予測

本プレスリリースには、将来の見通しに関する記述が含まれています。将来の見通しに関する声明は、その性質上、多くのリスク、不確実性、および仮定を伴い、実際の結果や出来事がこれらの記述で表現または示唆されたものと大きく異なる可能性があります。これらのリスク、不確実性、および仮定は、ここで説明されている計画や出来事の結果および財務的な影響に悪影響を及ぼす可能性があります。新しい情報、将来の出来事、その他の理由により、将来の見通しに関する記述を公に更新または修正する義務を負うものではありません。本プレスリリースの日付時点でのみ有効な将来の見通しに関する記述に過度の信頼を置かないでください。本プレスリリースに含まれる過去の傾向や出来事に関する記述は、そのような傾向や出来事が将来も継続することを示すものではありません。上記の注意事項は、シェフラーまたはその代理人が発行する後続の書面または口頭による将来の見通しに関する記述と関連して考慮されるべきものです。

シェフラーグループ – We pioneer motion

シェフラーグループは、80年以上にわたりモーションテクノロジーの分野で画期的な発明と開発を推進してきました。電動モビリティやCO₂削減効率の高い駆動システム、シャシーソリューション、そして再生可能エネルギーのための革新的なテクノロジー、製品、サービスにより、シェフラーグループは、モーションの効率性、インテリジェンス、持続可能性を高めるための、ライフサイクル全体にわたる信頼できるパートナーです。シェフラーは、モビリティエコシステムにおける包括的な製品とサービスの範囲を、ベアリングソリューションやあらゆる種類のリニアガイドシステムから修理および監視サービスに至るまで、8つの製品ファミリーに分けて示しています。シェフラーは、約11万人の従業員と55か国に約250以上の拠点を持つ、世界最大級の同族会社でありドイツで最も革新的な企業の一つです。

連絡先

シェフラージャパン株式会社
 広報部 マネージャー 金城道代
E-mail: pr-japan@schaeffler.com

